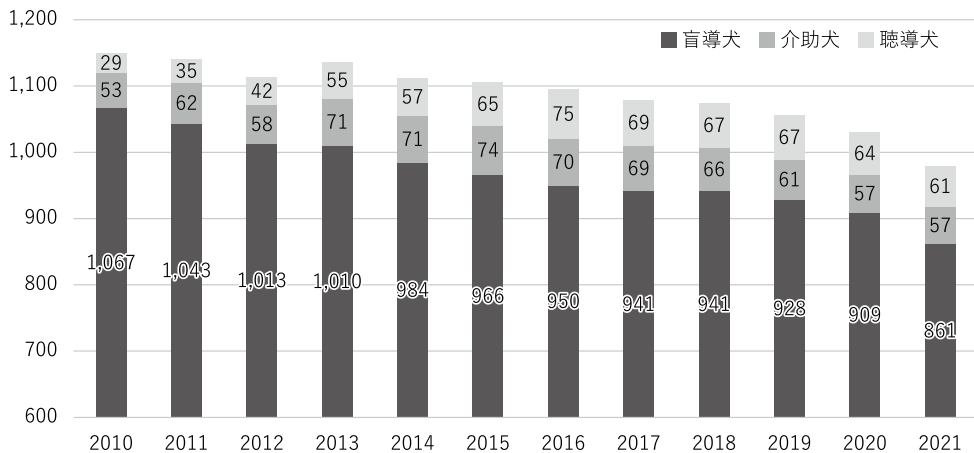


身体障害者補助犬実働頭数の推移



障害のある方の自立や社会参加を手助けし、心の支えにもなってくれる補助犬たち。厚生労働省および日本盲人社会福祉施設協議会がまとめた統計によると、補助犬の実働頭数は横ばい、ないし漸減している。特に盲導犬は、1980～2000年代前半にかけて急増し1,000頭を越えたものの、現在は900頭を割り込んでいる。海外の盲導犬先進国との格差も大きく、米国とは実働頭数、英国とは普及率で10倍近い開きがあるという。普及していないということは街なかで会う機会も少ないということである。全国盲導犬施設連合会の調査では、2019年からの1年間で盲導犬の受け入れ拒否を経験したユーザーが半数を超えた。訓練士不足、資金不足等、構造的な問題の他、啓蒙活動も喫緊の課題である。

厚生労働省「身体障害者補助犬について」、同 HP「身体障害者補助犬実働頭数」より作成